

治療スケジュール

*レジメン名	BV(5mg/kg)+FOLFOXIRI療法(14日間)(大腸)
*投与量・投与日	レボホリナート200mg/m <sup>2</sup> d1、 イリノテカン165mg/m <sup>2</sup> d1、 オキサリプラチン85mg/m <sup>2</sup> d1、 5Fu3200mg/m <sup>2</sup> d1、 ヘパシスマ75mg/kg d1

*手技	癌	*薬品名・*用法・コメント・*休薬完了	*数量	*単位	点滴時間・点滴速度	d(1)	d(14)	d( )	d( )
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生食注シリンジ 1日1回 開始時 CVポートフラッシュ	10	mL		○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液 アバステン前プライミング メイン① 点滴開始時にアプレピタントカプセル服用	50	mL		○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	生理食塩液 ペバシズマブBS点滴静注 1日1回 インフュージョンリアクション認めなければ次回より60分に短縮可 それ以降、30分投与とすることができる メイン② 無菌製剤処理料1	100 5	mL mg/kg	90分	○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液 メイン③	50	mL	15分	○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注 デキサート注射液 パロノセトロン静注0.75mg 1日1回 メイン④	100 9.9 1	mL mg 瓶	15分	○ ○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	5%ブドウ糖注 イリノテカン注 1日1回 メイン⑤ 無菌製剤処理料1	250 165	mL mg/m <sup>2</sup>	60分	○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注 レボホリナート点滴静注 1日1回 側管⑥ オキサリプラチンと同時投与	250 200	mL mg/m <sup>2</sup>	2時間	○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	5%ブドウ糖注 オキサリプラチン点滴静注液 1日1回 メイン⑥ 無菌製剤処理料1	250 85	mL mg/m <sup>2</sup>	2時間	○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	生理食塩液 フルオロウラシル注 1日1回 全量230mLに。(Infusor LV5) メイン⑦ 無菌製剤処理料1 携帯型ディスポーザブル注入ポンプ(化学療法用) 休薬完了	250 3200	mL mg/m <sup>2</sup>	48時間 5mL/h	○ ○			●
内服		以下別オーダー デカドロン錠(0.5mg) 1日2回 朝食後	16	錠	d2~4				
内服		アプレピタントCap 1日1回 1本目の点滴開始時	125	mg	d1				
内服		アプレピタントCap 1日1回 朝食後	80	mg	d2・3				